



知識社会を生き抜け

(高めた人間力を生かせ)

学校長 小 邑 政 明

卒業生の皆さん、ご卒業
おめでとうございます。

保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。入学式からともに歩まれ、今日、立派に成長されたお子様の姿を目の当たりにされて、感慨もひとしおかと思えます。

私が高等学校を卒業してから半世紀近くになりますが、豊かで便利な社会となりました。特に、インターネットに代表される情報関連機器の世の中への貢献度は計り知れません。伝達できる情報量の増加や伝達の速さに加え、家庭の電化製品の制御、自動車の自動ブレーキなどネットワークの広がりを実感できます。また、大手企業では、それらの集大成として「人工知能」の研究を本格化させています。すなわち、情報機器は人間との距離を縮め、私たちの暮らしにとって必要不可欠な存在となってきています。しかし、こうした現況を私は次の二点について憂慮しています。

第一の心配は、自然災害などで情報システムが破壊され、社会全体が機能しなくなったときの対応です。これには、幅広い分野の学習と様々な体験の蓄積、それらを踏まえた有効なアイデアをひねり出す訓練を日頃から実践することで、いざというときに困難を切り抜ける力が備わっていることが必要です。この困難に打ち克つ力を第一の「人間力」とします。

第二の心配は、情報への侵入や抜き取りと悪用です。これから不正アクセスやなりすまし詐欺などがさらに大きな社会問題となることが予想され

ます。セキュリティシステムの向上によって対応していますが完璧ではありません。最上の防止策は、「他人に被害を及ぼすことは人として決してやってはいけないこと」という人間の心の醸成にあると考えます。この人間の心を第二の「人間力」とします。

私が生きてきた半世紀の流れからみるとこの心配の度合いが増加しているように思えてなりません。今まさに、この二つの「人間力」を身に付けることが求められています。そしてこれらの「人間力」を高めるための場は、「生の自然とのふれあい」と「生の人間とのふれあい」にあると考えています。世の中の便利さによって離れてしまった人と自然と、人と人との距離を狭めていくことが求められています。

本校では、グローバル社会で活躍できる次世代リーダーの育成を教育活動の柱として、生徒・教職員・保護者が一体となって取り組んでいます。そして、卒業生の皆さんは、日々の学習活動に加え、部活動や学校行事、学生会館での宿泊研修など、自然や人とのふれあいを大切にすることで、先に述べた「人間力」の向上に繋げてきたと信じて疑いません。

卒業後は、いよいよ本校で身に付けた「人間力」を社会の中で発揮するときとなります。

私達教職員一同皆さんの将来にわたる活躍を期待するとともに、後輩の生徒の皆さんへの目標となってもらうことを心から願っています。